

訪問看護連載

— 心で見えるもの — ①

その日は在宅酸素をしている88歳独居の男性Kさん宅の初回訪問でした。立派な一戸建ての奥の部屋のベッドに横たわっていましたが、私がお伺いするとやっとの思いで起き上がり「面倒をかけて申し訳ございません」と深々と頭を下げられました。認知症の妻がホームに入居してからずっとお一人で生活していましたが、最近動けなくなり一日のほとんどをベッドで過ごされています。

富士山の写真撮影が趣味だったそうで、部屋にはたくさんの美しい富士山が飾られていました。感心しながら眺めていると、部屋の片隅にある物に「え？」と思わず声をあげました。

→次号へ続く<



訪問看護所長
松本 美香



編集後記

タイトル名のご応募ありがとうございました！

皆様にご協力を頂きましたおかげでタイトルが決定致しました。

『 **いくよこタイムズ** 』 です！！

末永くご愛顧のほどよろしくお願い致します。

広報委員会 広報誌編集部 一同



育生会横浜病院

併設
 介護老人保健施設 介護老人福祉施設
ユトリアム よつば苑

診療科目

内科・消化器内科・循環器内科・外科・消化器外科
 リハビリテーション科・婦人科・皮膚科・歯科口腔外科

休診日：日曜・祝日

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町200-7 TEL. 045-712-9921

<http://www.ikuseikai-yokohama.com>

育生会 横浜病院 検索

発行責任者 院長 長堀 優

いくよこタイムズ



創刊号

2016



育生会横浜病院 広報誌「いくよこタイムズ」発刊によせて



理事長 碓井 貞彦

横浜病院は終戦の翌年の昭和21年に誕生し、以来生活困窮者への無料低額診療を柱に、一貫して医療を通じた地域貢献を続けて参りました。時代の変化に伴い、平成7年に現在のこの地に、21世紀の高齢化社会を見据えた複合3施設として生まれ変わり、現在に至っています。

今年は現施設としての20周年を経て、創立より70周年を迎える年となります。いま我々は、超少子高齢化時代に向けて、より地域の要望に応える施設、地域になくてはならない施設であり続ける為に、更なる変革を成し遂げる時を迎えました。

「まず努力 まず実行 まず奉仕」

創立以来のこの精神を忘れることなく、患者様から安心して、病院でも在宅でも加療を任せて頂けるよう、地域の他の医療・看護・介護施設とのより一層の連携を進め、全国のモデルとなるような地域包括ケアシステムの構築を目指して参ります。

本誌の役割には、その主役たる地域の皆様への情報発信のツールとして、職員一同の熱い思いをお伝えする事の出来るものと、大いなる期待を感じております。



院長 長堀 優

あけましておめでとうございます。今年一年の皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

当院は、我が国に間もなく招来するとされる超高齢化社会において、地域医療の中心となって貢献する使命があるものと考えております。そのために、同じ敷地内に病院、特養、老健を併設し、さらには、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、患者さんやご家族を支える訪問診療を早くから導入しています。

このような日々の取り組みをご紹介するために、この度「いくよこタイムズ」を発行する運びとなりました。お目をお通しいただければ幸いです。

当院は、地域に愛される病院を目指し、今後とも職員一同精進して参ります。今年一年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域包括ケア病床開設について

病院創立70周年の今年、病院は大きな転換を致します。

地域から今まで以上に必要とされ、評価されるために2月に3階病棟49床のうち37床を地域包括ケア病床に変え、在宅復帰を支援する病院を目指すこととなります。

多くの病院が急性期からの転換ですが、当院はいくつかのハードルを越えてたどり着きました。しかし、求められる役割を果たすためには、これからの取り組みが大切です。

職員一丸となって頑張る所存です。

事務長 武井 主税

育生会フェスティバル

昨年10月17日に育生会フェスティバルを開催致しました。当日は多くの方にご来場頂き、大盛況でした！ ありがとうございます。



↑ 屋台



ナース体験 ↓



← 抽選会



院内保育室



近くには児童遊園地があり、毎日お散歩へ行ったり、遠足に行くなど環境にも恵まれています。



少人数の異年齢保育
家庭的な雰囲気
保育スタッフ充実！



季節に合わせたイベントでは、保護者の方にも参加して頂き、施設全体でバックアップしています。

